

みなとぴあボランティアレター 第55号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2025.03

冬の活動を紹介します！

1/26 ステップアップ研修②

1月21日（日）に今年度2回目のステップアップ研修を実施しました。今回のテーマは春アンケートでリクエストのあった「江戸時代新潟町の災害対応」。新潟町の事例から、洪水や砂防など、江戸時代における新潟町の災害対応について、田嶋学芸員から紹介していただきました。

江戸時代における災害対応は幕府や藩ではなく、地縁や血縁が大きな役割を果たしました。新潟町の町政では、水害や火災への対策のための対応に関する記録が残っています。

水害対策については護岸整備のほかに、雪解け水が出る前の春先に堀の定期的な清掃が行われていました。また火事については、長岡藩時代には水で消火する「龍吐水」が導入され、川村修就の指示からは屋根への飛び火に警戒していたことがわかりますが、建物の防火といった対策は明治以降にとられました。風害対策としては、播磨屋市右エ門が塵芥を砂丘地にまくことによって植林を可能にし、事業を継承した川村修就は河口付近の植林に力を入れ、26,000本の松を植えました。

参加したボランティアスタッフからは、「新潟の大きな流れを知る上で、このようなテーマをしぼった講座はとても役立つと思いました」「川村修就の新潟の町づくりへの尽力を改めて感じる事ができました」との感想がありました。江戸時代における災害についてボランティアの関心は高く、充実した研修だったことがうかがえました。



1/26 新年会

1月26日（日）に新潟駅前にある「福わうち 新潟店」で新年会を開催しました。また今回の新年会は、前任および現在のボランティア担当の学芸員それぞれが結婚したことへのお祝いも兼ねての開催となりました。

会は坂井館長のご挨拶と、副館長の乾杯の発声で始まりました。参加者は職員を含め36名という多くの方にご参加いただき、楽しく交流することができました。

しばらく会食したのち、学芸員2名それぞれへの結婚のお祝いが始まりました。まずお祝いのお言葉を小松原さんからいただきました。続いて、荒木さんからお祝いとして「高砂」の唄を唄っていただきました。「高砂」は夫婦愛や



東京から、ボランティアに参加してくれていた西澤さんが来てくれました！

長寿を願う内容ですので、今回にぴったりの歌唱でした。

その後ボランティアスタッフから2名へのプレゼントが贈られました。プレゼントの内容は、写真立てとチョコレート、そしてボランティアからの寄せ書きでした。2名がお祝いへのお礼の言葉を述べました。質問タイムでは、2名にたくさんの質問がありました。

お祝いを終えた後も歓談はしばらくつづき、とても楽しい新年会となりました。司会や準備を進めてくださった準備メンバーのみなさま、ありがとうございました。



お祝いの品をいただきありがとうございました！



2次会の様子

2～3月 新規ボランティア研修

2月から新規ボランティア研修がスタートしました。

当初の計画の8日（土）は新潟市で記録的な大雪となったため、延期して15日（土）に開催された説明会には、8名の方にお越しいただきました。当日は副館長からのご挨拶と新規ボランティアスタッフの自己紹介の後、みなとぴあのボランティア活動の概要と、ボランティアにおける活動の心構えについてボランティア担当から説明しました。



以降2月から3月の初旬にかけて、常設展示ガイド、敷地ガイド、体験の広場ガイドに分かれて実施しました。常設・敷地ガイドの両研修の最終日は先輩ボランティアスタッフの実演となり、両日ともに熱の入った解説となったそうです。

体験の広場サポートの研修では、さらさら砂絵と火起こし体験のプログラムを体験しました。どちらもそれぞれ作り方、道具の使い方を教え合って活動する場面がみられました。さらに、森学芸員から小学生向けの昔の道具の解説が実演されました。

それぞれの研修に真剣に取り組む新規ボランティアスタッフの様子から、充実した研修となっていたことがうかがえました。



田嶋学芸員による常設展示室の研修



当日ガイドで活躍する野沢さんの実演！



塚田さんの敷地ガイド実演！



小学生向けの道具の説明も研修しました



さらさら砂絵は協力しながら取り組んでいました！

2/27 新規高校生ボランティア研修

2月4日（月・祝）に新規高校生ボランティアの説明会を実施しました。来年度から24名の体制となり、説明会には17名の高校生が参加しました。

説明会では副館長からのご挨拶からはじまりました。みなとぴあでのこれまでの活動だけでなく、他の博物館・美術館における活動も紹介し、高校生それぞれの発想で活動内容を考えてほしいことが伝えられました。

後半はそれぞれの考えを書き出し、深めた意見を共有しあうワールドカフェの手法で、これからのみなとぴあでの活動内容のアイデアを出し合いました。



説明会の様子



様々なアイデアが生まれました！

職員紹介



学芸課
学芸員

たかまつ なつお
高松 夏央

糸魚川市出身

これまで富山県の氷見市立博物館に5年半ほど勤めまして、縁あって3月から学芸員としてお世話になっております。専門は民俗、日本近現代史です。湊町新潟市の歴史や文化の発信拠点ともいえるみなとぴあで、日々調査・普及ができることに感謝しながら過ごしております。趣味は鉄道とスポーツ観戦（主にサッカー）です。

入ったばかりで至らない点が多いかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

【編集後記】

今回は1月から3月にかけての活動を紹介しました。新年会は職員の結婚祝いを兼ねてのものとして企画していただきました。ボランティアスタッフの皆様におかれましては、とても暖かく、ありがたいお祝いのお言葉をいただきありがとうございました。

ボランティアスタッフ間、またボランティアと職員との交流の輪に、新規のボランティア、高校生ボランティアの皆様にも加わっていただき、自分らしくボランティアの活動にご参加いただければと思っております。

（貝沼）

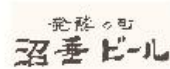
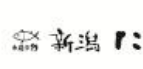
2024.7月現在

みなとぴあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。



日和山五合目



（順不同）